

オフサイドについて

オフサイドは得点をするために守備側チームのフィールド内で待ち伏せすることを防ぐために定められたルールです。
オフサイドの違反となるポジションとは、

- 攻撃側競技者が、
- 1 守備側チームのフィールド内で、
 - 2 ボールおよび後方から2人目の相手側競技者より相手側のゴールラインの近くに、
 - 3 味方競技者がボールに触れるあるいはプレーした瞬間にいることです。

FW1 がパスした瞬間に FW2 がいるポジション

→オフサイドポジション



※オフサイドポジションにいること自体は違反ではありません。

また、ゴールキック、コーナーキック、スローインでボールを受ける際もオフサイドの違反にはなりません。

オフサイドの違反が成立するのは、以下の①～③の3つのうちのどれかが成立した場合です。

① プレーに干渉する

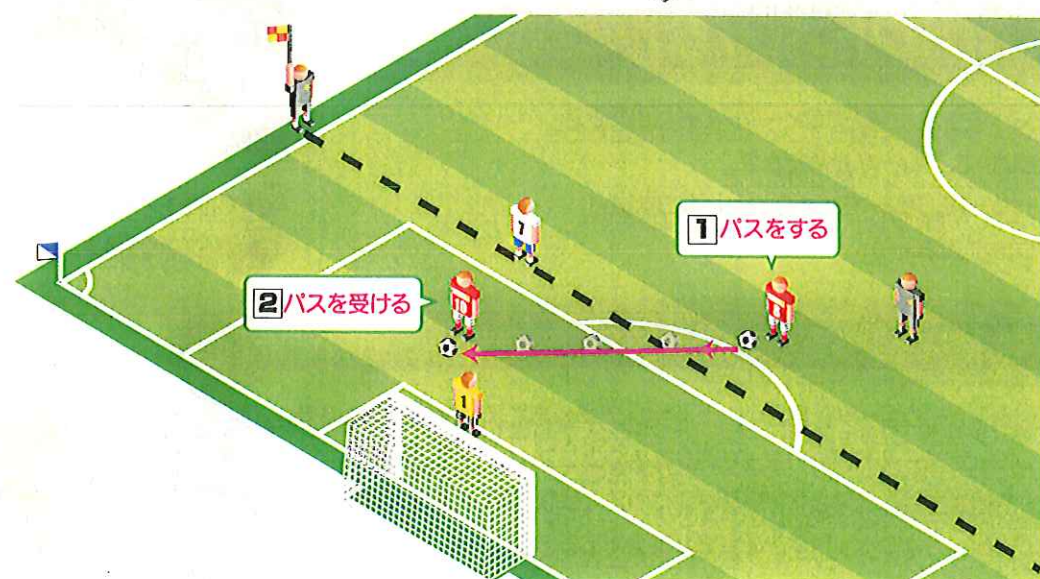
② 相手競技者に干渉する

③ その位置にいることによって利益を得る

① プレーに干渉する

味方競技者がパスする瞬間にオフサイドポジションにいた競技者が、パスを受けると、オフサイドになります。

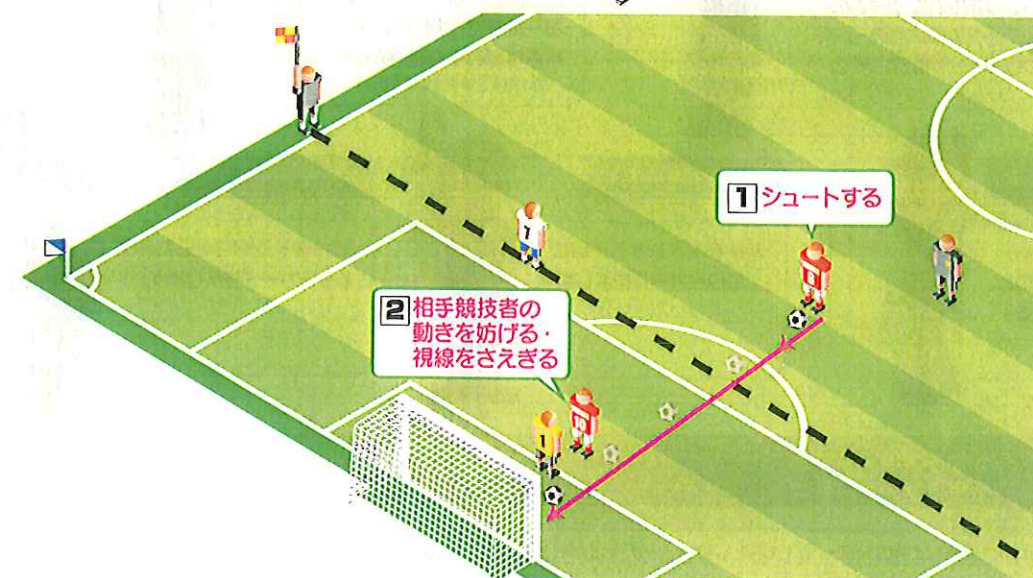
は、後方から2人目の守備側競技者



② 相手競技者に干渉する

味方競技者がシュートする瞬間にオフサイドポジションにいた競技者が、相手競技者がプレーできないように邪魔した場合、オフサイドの反則となります。

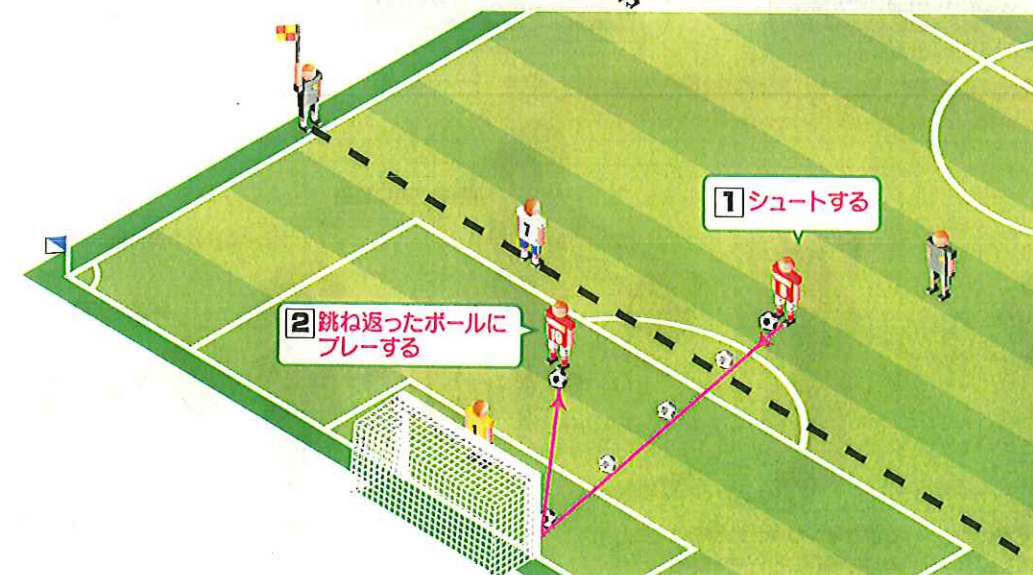
は、後方から2人目の守備側競技者



③ その位置にいることによって利益を得る

味方競技者がシュートする瞬間にオフサイドポジションにいた競技者のところに、シュートしたボールがゴールポストから跳ね返り、その競技者がボールをプレーすればオフサイドの反則になります。

は、後方から2人目の守備側競技者



主審のシグナル

主審が試合中に示すさまざまなシグナルです。目の前の試合で確認してみてください。

直接フリーキック

ファウルとして笛を吹いたら、ファウルされたチームの攻める方向に片手を上げ、フリーキックを示します。



間接フリーキック

フリーキックが間接フリーキックであることを示すために片手を上げます。ボールがゴールに直接入っても得点は認められません。



アドバンテージ

ファウルを認めつつも、アドバンテージを適用し、プレーを続けさせます。



警告

競技者を警告するためにイエローカードを示します。



退場

競技者を退場させるためにレッドカードを示します。



副審のシグナル

試合中に副審は旗を使っていろいろなシグナルを出しています。副審が旗を使って何を知らせているのか、確認してみてください。

ボールがタッチラインを越えてフィールドの外に出た時のシグナル

スローイン

スローインを与えたチームの攻める方向にフラッグを上げます。

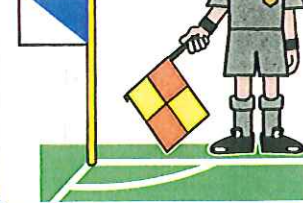


ボールがゴールラインを越えてフィールドの外に出た時のシグナル(プレーの再開方法)

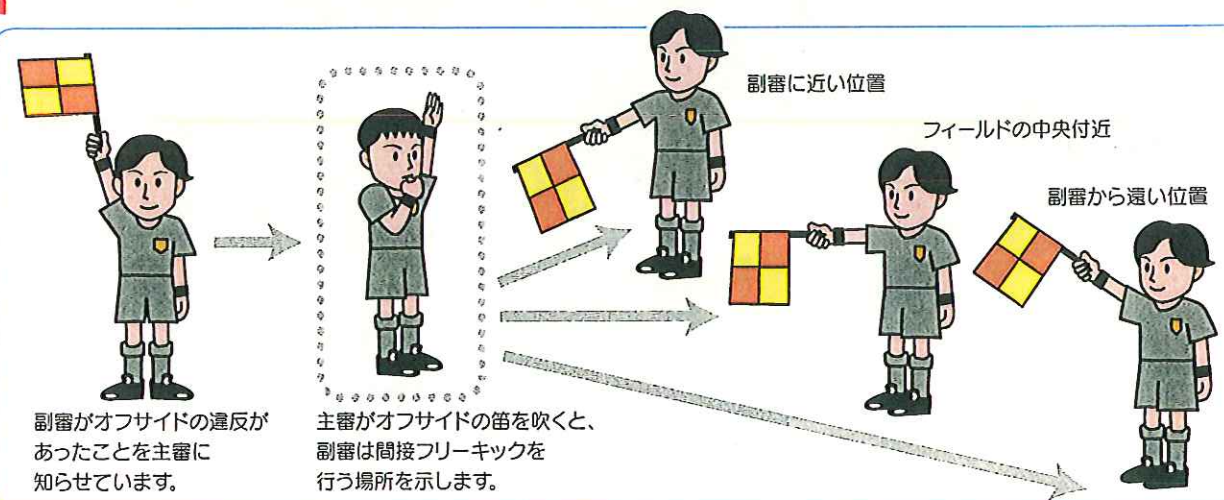
ゴールキック



コーナーキック



オフサイドの違反を主審に知らせ、再開の場所を指示します



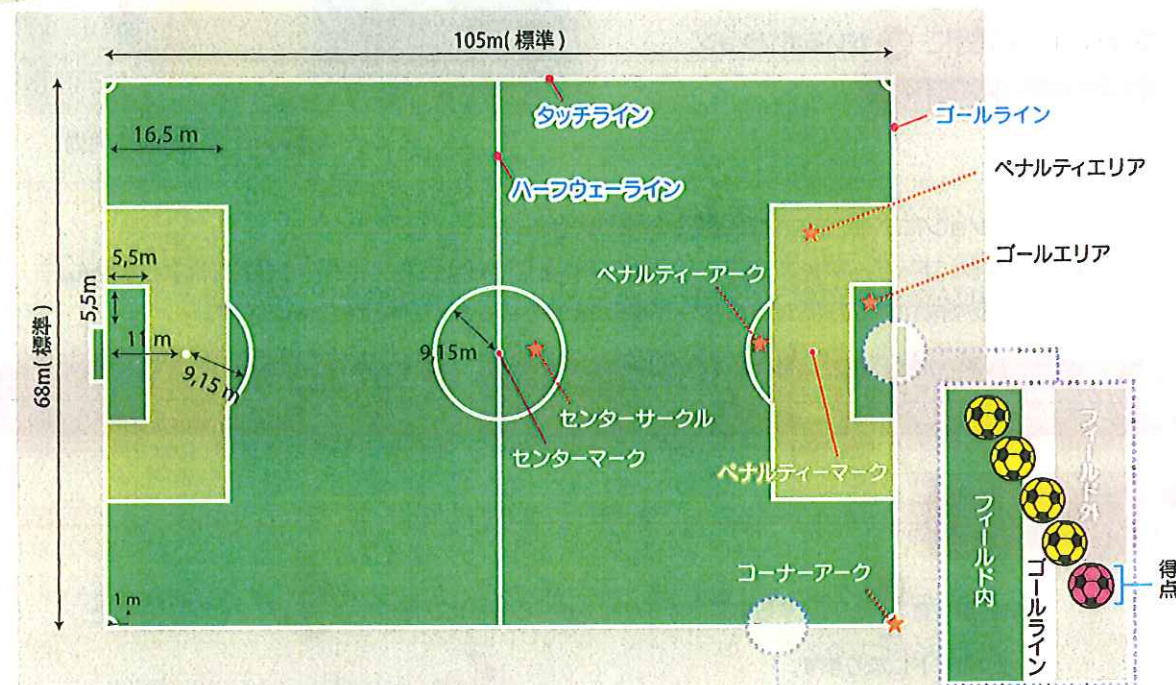
ルールを知って サッカーを見よう!

11人制

サッカーのルールは、競技者の安全を守り、プレーをする人も、見る人もサッカーを楽しめるよう、競技を公平に行われることを求めています。

公益財団法人日本サッカー協会

フィールドについて



ボールアウトオブプレー

- ボールがラインを完全に越えてフィールドの外に出たとき
- 主審が笛を吹いて、プレーを止めたとき
プレーヤーは、一度、プレーを止めなければならない。
(ボールアウトオブプレー)



用具について

- ジャージー(シャツ)、ショーツ(パンツ)、ストッキング(すね当て)、靴(シューズ)は必須。
- ゴールキーパーはフィールドプレーヤーと異なる色のユニフォームを着用する。
- 自分自身や他の競技者の危険となる用具を身につけてはならない(安全の確保)。
ただし、スポーツメガネやヘッドギアを主審が安全であると認めれば身につけることができる。

